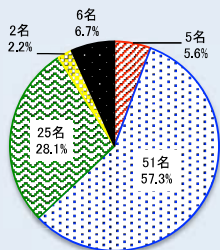


# まちづくり 交流会参加者 アンケート!

まちづくり交流会にご参加いただいたみなさん  
からご感想やご意見をいただきました。  
貴重なご意見は、今後の参考にさせていただきます!

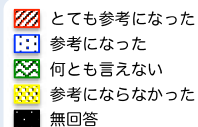


## 問1 今回のまちづくり交流会の内容はいかがでしたか?



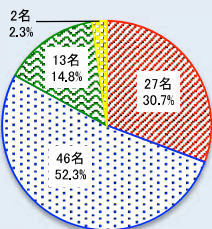
### 市からの説明

- 概要がつかむことができて良かった
- まちづくり活動はしっかりやっている話があったが、それでも参加する人が少ないのがなぜか? 人々が参加したくなる取組み、仕掛けが必要ではないか?



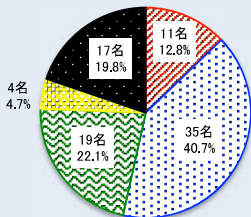
### 講演

- 各地区が特徴ある活動をしていて感動した。自分たちの地区でも出来るといいな
- 富士市の10~20年後、高齢化がさらに進んでいく際に参考になるヒントがあった



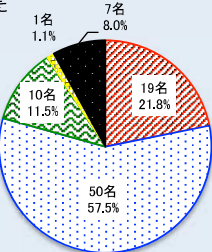
### 分科会

- 人づくり、準備、人集め、お金など、どの地区も同じ苦労をしていることがわかった
- 各地区の具体的な取組みを知ることができて良かった
- 他地区でもいろんな実践があることに興味しました
- 防災に関する取組みが色々あることを知った
- 他地区との交流が始まりそうな感じになった
- 気づかない視点を高校生からもらえて良かった
- もう少し時間(1時間程度)がとれると良い



### 展示部門

- 各地区いろいろな活動を工夫しながら頑張っている姿が見られ良かった
- 各地区それぞれの取組みがわかり今後の活動に活かせる



## 問2 ご意見、ご感想、来年度開催に向けてのご提案など

- 新たな企画、試みて良かった
- 今回の交換会は新しい試みで今後も継続すべきである
- 参加者を増やす取り組みをしたい
- 全体の問題点、課題を基本にしたテーマ設定(具体性のある)をお願いしたい

【発行】平成30年3月  
【発行者】富士市市民部まちづくり課  
富士市永田町1丁目100番地(富士市役所3階)  
☎ (0545) 55-2887  
🌐 <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

次号も  
お楽しみに!



2018 March



チカラコブたん

初のまちづくり  
交流会だコブ!

# コブタ レポート

■地域の力こぶ増進計画・ニュースレター■

## 初「まちづくり交流会」が開催されました!



冬晴れの1月27日(土)。ふじさんめっせにて、記念すべき第1回目となる『まちづくり交流会』が開催されました。

富士市内26地区のまちづくり協議会の役員さんを中心に、富士市立高校の生徒さんや市内外からいらした方も含め、およそ●●人の来場者で会場は熱気にあふれていました。

会場内には、地区ごとのブースが設けられ、普段のまちづくり活動に関する情報を一度に見ることができます。

また、講演や分科会では、地域の抱える課題を共有し、その解決についてヒントをもらうことができました。

今回のコブタレポートでは、その模様を総力取材!

1 【オープニング】  
富士市の地区まちづくり活動への支援の方向性について



2 【講演】  
持続可能な住民主体のまちづくり



3 【テーマ別分科会】  
富士市26地区の事例紹介と意見交換



4 【展示】  
・まちづくり協議会の活動紹介(市内26地区)  
・各地区のまちづくり新聞、コブタレポート  
・地区のシンボルマーク、ゆるキャラ  
・富士市のまちづくりに関する施策の紹介  
・各種新聞記事、企業コーナー  
・富士市立高校「究タイム・市役所プラン」の紹介



特集◆まちづくり交流会



## 講演



●講師 板持周治(いたもちしゅうじ)さん  
雲南市政策企画部地域振興室主査



### 『持続可能な住民主体のまちづくり ～雲南市の地域自主組織～』

鳥根県雲南市は、人口約 39,000 人 (H27 年国勢調査)。中山間地域で全域が過疎指定されています。しかし、富士市と同じように小学校区を単位とし、小規模ながらも様々な機能を持った住民自治の仕組みを取り入れ、協働によるまちづくりを行っています。



「イベント型から課題解決型へ！」  
先進事例の取組みは、富士市のこれからは活かせるものばかりでした。

\*\*\*

また、富士市まちづくり課から、持続可能なコミュニティづくりに向けて、行政が行っている施策や「富士市地区まちづくり推進条例」の紹介がありました。



## 展示

### ■26 地区ごとの情報コーナー

「まちづくり行動計画」「ロゴマーク」「キャラクター」「旗」「お祭りの写真」「イベントポスター」等、地区の情報が満載のコーナー。松野歴史かるた、T シャツ、青葉台のキャラクター「茶助」など、オリジナルグッズも並びました。



「ロベティも登場！」



### ■広報紙コーナー

地区の「協議会ニュース」等を展示。広報紙を発行すると、情報が集まる、発信できる等メリットがたくさん！イメージアップにもつながります。

来場者の皆さんどうしの会話が弾みました。



高校生も大活躍！

今回、展示コーナーでは、富士市立高校2年生による究タイム「市役所プラン」の優秀作品も発表されました。

また、「まちづくり未来会議」のメンバーは、交流会の取材も実施。分科会では提案の発表と質疑応答、会場では来場者インタビューを行いました。



## 分科会

分科会では、事前アンケートから抽出された4つのテーマに分かれ、意見交換を行いました。

- 1 地区の魅力向上の手法(祭り、イベント)
- 2 誰でも安心、安全に暮らせるまちづくりの事業(防犯・防災)
- 3 地区の人々のつながりづくりの方法(地域の見守り・住民福祉)
- 4 円滑なまちづくり協議会の運営(組織体制・会議)

それぞれのテーマごとに活発な意見や質問が出ましたが、共通する悩みは「人材の確保」と「若い世代の参画」そして「活動の負担軽減」のようです。世帯数も年齢構成もライフスタイルも変化してきている今、持続可能な地区まちづくりとは？ この分科会を通して、ヒントが見えてきたのではないのでしょうか…それぞれの地区の特色を生かしながら、楽しいまちづくりをしていきたいですね。



分科会では、こんな意見が出ました。一部をご紹介します！

- いろいろな人にイベントに参加してもらうには？  
→子供達を巻き込めば、両親や家族が来てくれる  
→インターネットを通じて外国人の参加もある
- 防災訓練など重要な行事への参加率を高めるためには？  
→学校と連携し、防災訓練をしてから登校してもらっている
- 町内会に入らない人(アパート等)をどうすればいいか
- 昔からある行事・事業を続けるだけではいけないかもしれない
- 役員の継続性を保つのが難しい  
←特定の役職で任期が長期化している。行政の指導が欲しい
- 大人数の会議の前に少人数で打合せをすると効率的
- 孤独死防止のため、お年寄りの居場所作り、見守りを行っている(地域ケア会議)
- 各種会議を同じ日に設定する(一日ですませる)
- 3世代交流をすすめるためイベントを実施している(たらい流し、BBQ等)



「質問デス！」

# まちづくり 交流会 in ふじさんめっせ